

大柿中学校 研究構想図

【学校教育目標】 「誠」を校訓として、人間性豊かな、たくましい生徒の育成につとめる

【本校で育成を目指す資質・能力】

- (A) 課題発見・解決力 B. コミュニケーション力 C. 協調性 (D) 高い志
 (○は特に今年度重視するもの)

【研究主題】 主体的に学ぶ児童生徒の育成
～深い学びに向かう発問の工夫～

授業改善の推進

| | |
|----------|---|
| 自分の考えをもつ | 【課題設定の工夫】 ・生徒が自ら課題意識をもてるような必然性のある課題や、考えに多様性のある課題を設定する。 |
| 協働 | 【思考を深める話合い】 ・相手の意見を批判的に捉え、建設的な話合いをさせることで考えを広げたり深めたりさせる。 |
| 自分の学びの整理 | 【振り返り】 ・本時の学びを言語化し、思考を整理させる。 ・活用問題や評価問題を実施する。 ※家庭学習(自主学習ノート)につながりをもたせる。 |

小中連携

【授業参観シートの活用】

- ・思考の流れを意識した授業づくりを小中で行うために、共通の参観シートを使用する。

【授業交流】

- ・隔週で中学校から小学校の授業を参観しに行く。小学校は中学校の研究授業に参加する。

学び合える集団

- ・まなざしを交わす
- ・「分からない」が言える
- ・間違いを大切にする
- ・反対意見や違う考えが出せる
- ・互いに認め合える

授業に臨む構え

授業規律の徹底

- 『時を守り』 チャイムと同時に瞑目
- 『場を清め』 話を聴く姿勢を徹底
- 『礼を正す』 返事・挨拶の徹底

基礎・基本の徹底

家庭学習習慣の確立

- ・自主学習ノート
- ・確認テスト
- ・自学の工夫

『学習の足場』の充実

- ・朝読書 ・補充学習